

安定取引関係確立事業活動の概要



事業者：グリーンフィールド沖縄株式会社

計画概要

カット野菜の原料となる国産レタスの安定的な確保のため、連携産地への社員派遣による現場支援を通じて、サイズ・加工規格・収穫タイミング等の自社受入基準を共有することで、生産基盤の維持・強化と受入するレタスの品質の向上を図るとともに、自社加工拠点の原体洗浄ライン（加工前レタスを洗浄・脱水・搬送する機械）の刷新により受入・処理能力を増強する。これら産地側と加工側の取組を一体的に推進することで、連携産地との覚書締結による安定的な直接取引のもと、国産原材料の取扱量を拡大する。

目標

連携産地から仕入れる国産レタスの取扱量を、現状の年間350,000kgから令和11年度（2029年度）までに420,000kg（20%増）に拡大する。

食料システムへの寄与

全量買取を前提とした直接取引により、農家の販路リスクが低減し、農業所得の安定と国内生産の拡大に寄与する。

また、国産原材料の安定調達・加工体制の確立を通じて食品産業のサプライチェーン強靱化に貢献するとともに、安全・安心な国産加工食品の安定供給により消費者利益の増進に資する。

計画のイメージ



連携産地（レタス農家）



▼ レタスを全量買取（直接取引）

▲ 社員派遣による生産支援



自社加工拠点

原体洗浄ライン（加工前レタスを洗浄・脱水・搬送する機械）を刷新し、受入・処理能力を増強



取扱量 35万kg→42万kg（20%増）
実需者へ定時・定量・定品質で安定供給

（2026年7月28日認定）